

平成 28 年度牧之原市地震・津波夜間避難訓練 実施計画について

1 目的

市内全域において、夜間における避難訓練を実施し、指定緊急避難場所の再確認と避難経路や避難に要する時間の確認を行い、避難行動時における安全性を確保するとともに、地震や津波による災害に対する危機意識の高揚を図る。

2 実施日時

平成 29 年 3 月 6 日（月） 午後 7 時～午後 8 時15分頃

静岡県津波対策推進旬間（3月6日～3月15日）における訓練として実施

3 訓練対象

市内全区及び町内会

4 訓練想定

3月6日の午後7時〇〇分、南海トラフ巨大地震が発生し、市内で震度7を観測。気象庁は午後7時〇〇分、静岡県沿岸部に大津波警報を発表した。

※地震発生及び大津波警報の時間は午後7時から午後7時30分までの間。

5 訓練重点項目

(1) 津波や土砂災害等の危険予想地域の周知

(2) 指定緊急避難場所や避難経路等の確認

(3) 指定緊急避難場所へ到着するまでの所要時間の確認

(4) 夜間における避難行動の安全性の確保

⇒夜間における危険個所の確認、懐中電灯等の非常持出品の確認 等

(5) 家族全員による避難訓練への参加

⇒安否の確認等（災害伝言ダイヤル及び災害用伝言板の周知）

(6) 自主防災組織における情報伝達訓練

⇒自主防区域内の避難状況等の早期把握と情報伝達

6 訓練設定時刻

時刻	内容	備考
午後 6 時30分	訓練事前広報	同報無線、個別受信機、防災ラジオ
午後 7 時〇分 ^{※1}	地震発生 ＜避難開始＞	サイレン吹鳴 同報無線、個別受信機、防災ラジオ
午後 7 時〇分 ^{※2}	大津波警報発表	同報無線、個別受信機、防災ラジオ 緊急速報メール配信
午後 7 時40分まで	情報伝達訓練	自主防災本部設置状況報告
午後 8 時ころまで	情報伝達訓練	自主防訓練完了報告(避難者数集計後)
午後 8 時15分	訓練終了	避難者は、点呼等の確認が済めば適宜解散可能とする。

※1・2 地震発生及び大津波警報の時間は午後7時から午後7時30分までの間とし、地震発生時のサイレンが吹鳴されてから避難開始とする。

7 その他

- (1) 震度4以上の地震が発生した場合及び気象警報が発令された場合は、訓練を中止する。訓練が中止になる場合は、同報無線でお知らせする。
- (2) 訓練参加者は、実際の災害を想定した訓練に取り組むこと。
例 ・ 停電を想定し、参加者各々が懐中電灯を用意する。
・ 津波から迅速に逃れるため、地域で決めた指定緊急避難場所へできるだけ早く避難する。
・ 土砂災害の危険個所を避ける避難経路を選択し避難する。
- (3) 小学校、中学校、高等学校の学校施設へ避難訓練を実施する場合は、敷地内までとし校舎には絶対に立ち入らないこと。
ただし、片浜小学校と細江小学校については、屋外階段を利用して屋上へ避難訓練を実施することは可能である。

夜間訓練ですので、事故やけがに十分注意すること。